

- 「そうそうそうだよね」と思うところに赤線を引きながら、また、「いやいや違うんじゃないの」と思うところに青線を引きながら文章を読みましょう。
- 多田さんが「頑張らない生き方って難しいと思う」のはなぜだと思いますか。本文の内容から考えてみましょう。

.....

.....

.....

- あなたが、もし、誰かに「どうしてそんなに頑張るの？なんで頑張らなければいけないことをあえて自分に課すの？」と言われたら、あなたなら何と答えますか。考えてみましょう。

.....

.....

.....

- この記事にピッタリと決まるタイトルを考えてみましょう。

- あなたは、多田さんの考えにどのような感想や意見を持ちましたか。

.....

.....

.....

.....

.....

年 組 名前



頑張らない生き方って難しいと思う。
 小さい頃から、勉強でもスポーツでも頑張ると褒められた。周囲の大人も、頑張った末に結果を出すことを「すごいね」「すごいね」「頑張ったね」とよく言ったものだ。
 単純な子どもだったわたしは褒められるとうれしかったから、さらに頑張り、その繰り返しで「頑張ることほ正しいこと」「認められるためには頑張ることが必要」と自然と思ってしまうようになっていった。

オリンピックシーズンになると、よくアスリートらが「努力は必ず報われる」「頑張れば夢はかなう」と言うが、これも「頑張ることが良いこと(正しいこと)」「という意識を持たせると」という意識を持たせる一端であると思う。

多田 有希

オリンピックシーズンの勉強の両方をやっているわたしに「有希はどうしてそんなに頑張るの？」なんて聞かれるのは、なんでもない。凡人だから、頑張る以外にどうしてよいのか分からない」と。世間体もあるし、プライドや見栄もあるかもしれない。人に認められたい気持ちもある。先曰、大学の勉強と資格

末にこう言った。「自分は特別な良いわけでもないし、容姿が優れているわけでもない。凡人だから、頑張る以外にどうしてよいのか分からない」と。世間体もあるし、プライドや見栄もあるかもしれない。人に認められたい気持ちもある。先曰、大学の勉強と資格

認め、他に流されずマイペースで生きることも、自分に余計な負荷をかけない良い方法である。
 どんな生き方を選んで、自分を受け入れ、自分で自分を愛せることが一番だ。頑張る自分も頑張らない自分も認めてあげる。自分を好きでいてあげる。何よりもそれが大事ではないかと思う。
 昔ほど、自分のキャパシティを超えて頑張ることはなくなりましたがわたしも少し肩の力を抜いて、勉強ができなかった日には「そんな日もあってよい」と自分を許すことから始めたいと思う。
 (盛岡市 学生 27歳)